

取扱説明書

本日は、当日海センター オリジナルタワー型ろ過槽ジュニアをお買い上げ頂き誠に有り難うございました。
未長くお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。
なお、お読みになられたあとも、大切に保存されますようお願いいたします。

-特長- 日海センターオリジナルタワー型ろ過槽 Jr は、通常水槽内にある、ヒーターを、ろ過槽内に収納、また、硝酸塩還元筒濾過槽も標準装備、硝酸塩値を下げることに成功。水槽のサイドに設置するため、水槽上面も広く使え、水槽のメンテナンスがしやすくなりました。照明も全面にあてられます。

<1> 各部品の名称、を確認してください。
(図1参照)

<2> ろ過槽に(図2参照)揚水ポンプ、ヒーター、配管をセットします。

(1) まず ろ過槽本体、をよく水洗いしてほこり、バリ(切屑)などを落とし、水槽の横又は背面に設置します。高さがある場合は底が平らな物で底上げて下さい。

セット場所は直射日光が当たらない所して下さい。直射日光が当たりますと紫外線により、ろ過槽は劣化、ひび割れ漏水する恐れがあります。

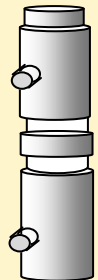
(2) 図2を参考にヒーター(ヒーターカバーをして下さい)とセンサーをろ過槽本体の”オプションパーツ室”の底深く沈め横にして置きます。ヒーターとセンサーは出来るだけ離して下さい。ヒーターを電子サーモと接続します電源はまだ入れません。

ヒーターは必ずヒーターカバーに入れて御使用ください。カバー無しでの御使用は、熱によりろ過槽が変形、ひび割れ、漏水すし、火災発生の恐れがあります。

(3) 図2のように水中ポンプと太い排水管を繋げます。水中ポンプの電源はまだ入れません。

(4) 硝酸塩還元筒を取り付けます
上

図3 上フタ



デニバイオチップとハイブリットボールを茶碗等に入れ、そこにリダクションバイオ(液体)をかけ、デニバイオチップとハイブリットボールにリダクションバイオ(液体)をよく素早く染み込ませます。

それを本体のフタを開け入れ込みます
セットがおわりましたら、濾過槽本体に図1を参考に取り付けてください。

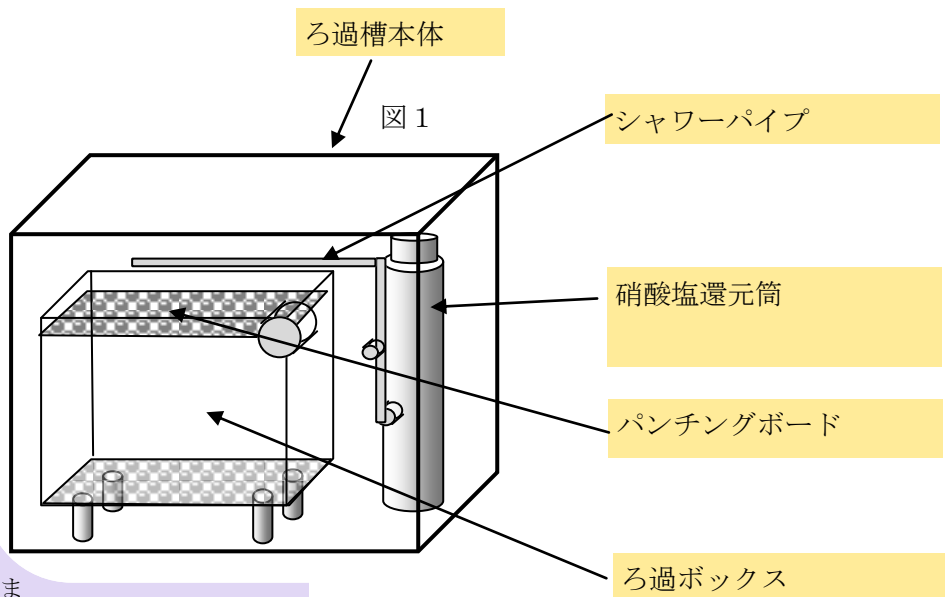
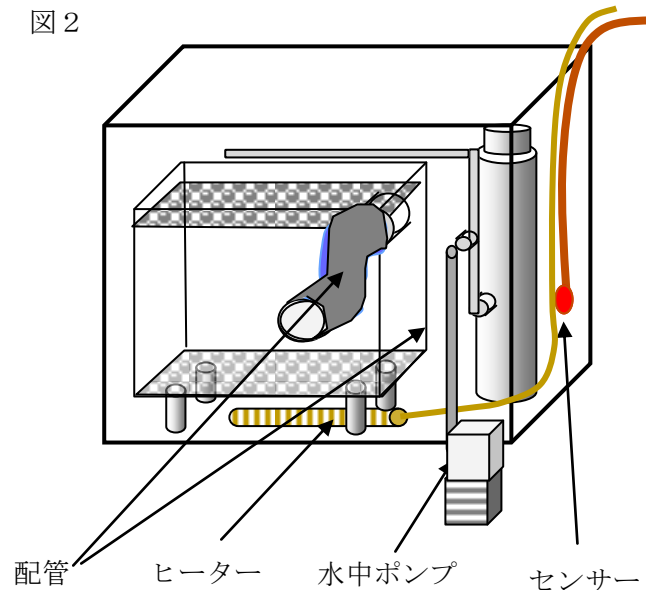


図2



< 2 > ろ過槽に海水（水）を入れます。

揚水ポンプの電源をいれて、ろ過槽に飼育水が満タンになったら揚水ポンプを一旦止めます。

< 3 > ろ過ボックスにサランネット ハイブリットボールの順に図4を参考に 下から順に入れてゆきます。

< 4 > ろ過槽にバクテリア(商品名' スーパーバイオ')を入れ水を循環させます。

バクテリアは活性炭をよけて、直接混合ろ材に入れて下さい。そのまま2~3分待ってから、揚水ポンプの電源を入れて水を循環させます。水の循環が確認出来たら、ヒーター（サーモスタット）の電源を入れて下さい。この時、水が白濁しますが、数時間で透明に戻ります。

電源が入っているヒーターとセンサーは絶対に水中から出さないで下さい。破損、火災の恐れがあります。

< 5 >ろ過槽のメンテナンスについて

--活性炭のメンテナンスについて--

活性炭は汚れ方にもよりますが・・・2~4週間に一度、新しいものと交換します。

--ろ過材のメンテナンスについて--

常時飼育されている生物の大きさ、数、あるいは餌のあげ方、あげる量等のさまざまな条件に伴い、

ろ過材のメンテナンス時期は一概にはいえませんが、3ヶ月・・・延ばしても4ヶ月に一回はろ過材のオーバーホールを行いましょう

オーバーホール方法は、その時期が来ましたら当店にお訪ねください。

< 6 >硝酸塩還元筒のメンテナンスについて

上フタの硝酸塩還元筒は 3ヶ月に一回は硝酸塩還元筒の中を開け 中の残量を確認します。減っているようでしたら デニバイオチップを追加してください。

--警告--

*ろ過槽を移動するとき、ろ過材、水等をはったまま持ち上げたり移動させないでください。

本体が歪み漏水する恐れがあります。

*ストーブやヤカンなど熱いものを、ろ過槽に近づけないでください。

ろ過槽をシンナーやその他薬品で拭いたりしないでください。

熱や薬品により変形、ひび割れ、漏水する恐れがあります。

*ろ過槽にご自分で穴を開けたり、加工を加えないでください。

本体の強度が低下し、破損、漏水の恐れがあります。

*セット場所は直射日光が当たらない所にして下さい。

直射日光が当たりますと紫外線によりろ過槽は劣化、ひび割れ漏水する恐れがあります。

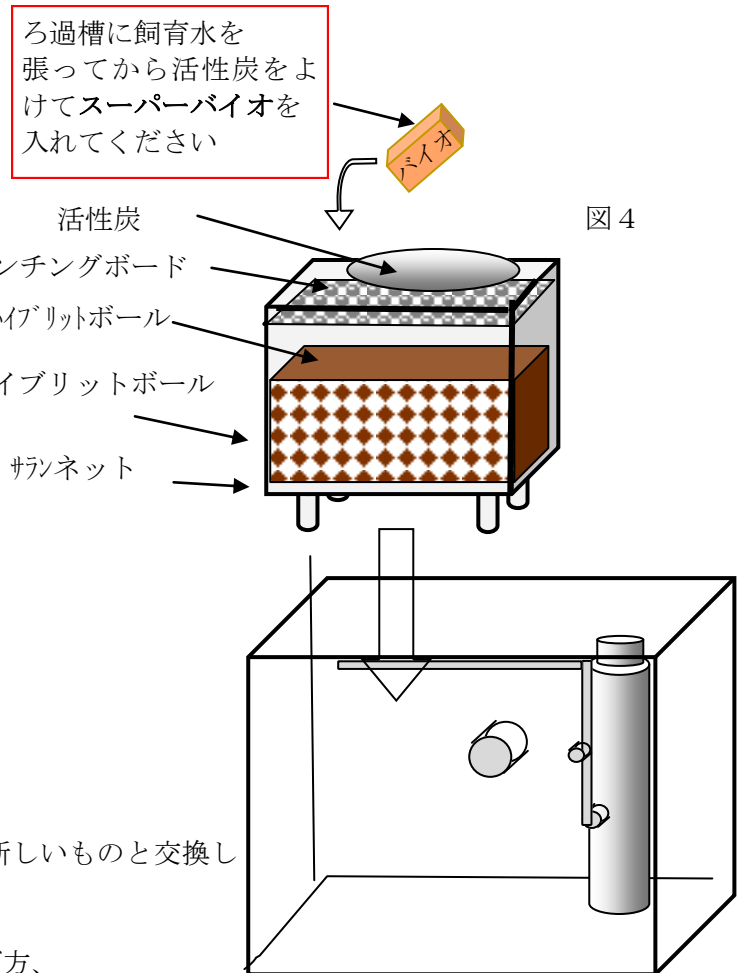


図4